

第22回救急・災害医療提供体制等の 在り方に関する検討会	参考 資料3
令和2年12月4日	

令和元年度の AMAT活動報告について

公益社団法人 全日本病院協会

令和元年度の AMAT活動報告について

1. 自然災害対応について

- 1 - 1. 令和元年8月の前線に伴う大雨における活動
- 1 - 2. 令和元年房総半島（台風15号）における活動
- 1 - 3. 令和元年東日本台風（台風19号）における活動

2. 新型コロナウイルス感染症に係る対応について

- 2 - 1. クルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号における活動

1 - 1. 令和元年8月の前線に伴う大雨における活動

【活動概要】

①AMAT派遣

活動期間：令和元年8月29日

活動場所：医療法人順天堂 順天堂病院／佐賀県杵島郡

活動内容：先遣隊AMATによる被害病院の視察

活動隊員数：1病院（先遣AMAT1チーム3名）

②全日病災害対策本部

活動期間：令和元年8月28日～令和元年8月30日

活動内容：会員病院等の被害状況に関する情報収集（福岡県、佐賀県、長崎県）

1 - 1. 令和元年8月の前線に伴う大雨における活動

【成果】

- ・速やかに災害対策本部を設置し、被災予想地域の会員病院から情報収集を実施できた
- ・支援が必要と判断された会員病院に先遣AMATを派遣し、被災状況を収集することができた

【課題】

- ・AMATは水上移動手段を有しない為、かかる装備を有する団体との協定締結が必要である

1 - 2. 令和元年房総半島（台風15号）における活動

【活動概要】

①AMAT派遣

活動期間：令和元年9月10日～令和元年9月23日(待機含む)

活動場所：医療法人社団千葉光徳会 中沢病院／千葉県富里市

（現：医療法人社団千葉光徳会 千葉しすい病院／千葉県印旛郡）

社会福祉法人太陽会 安房地域医療センター／千葉県館山市

活動内容：AMATによる被災病院の医療支援、患者搬送支援等

活動隊員数：18病院（延べ52チーム170名）

待機隊員数：11病院（延べ17チーム）

②全日病災害対策本部

活動期間：令和元年9月9日～令和元年9月23日

活動内容：会員病院等の被害状況に関する情報収集（千葉県）

1 - 2. 令和元年房総半島（台風15号）における活動

【成果】

- 速やかに災害対策本部を設置し、被災予想地域の病院（会員病院を含む）から情報収集を実施できた
- 支援が必要な会員病院に病院救急車を擁したAMATを複数隊派遣し、患者搬送支援体制を整えることができた
- 地域の救急医療の中核を担う会員病院に対して、本部支援・ER救急診療支援・患者搬送支援を継続的に実施できた
- 特にハブ機能を果たした中核病院から高次病院への転院搬送については、病院救急車を複数台稼働させて地元消防力を補完する役割を担った

【課題】

- 避難勧告が発令された際に、全国各地から現地に移動中のAMAT隊に対して、一部迅速かつ速やかな連絡が出来なかった→通常の通信手段が使用できない環境下でのより迅速かつ確実な通信手段の確保が課題である

1 - 3. 令和元年東日本台風（台風19号）における活動

【活動概要】

①AMAT派遣

活動期間：令和元年10月13日（※待機 令和元年10月14日～令和元年10月16日）

活動場所：医療法人平成博愛会 世田谷記念病院／東京都世田谷区

活動内容：AMATによる被害病院の患者搬送支援

活動隊員数：2病院（延べ2チーム8名）

待機隊員数：7病院（延べ7チーム）

②全日病災害対策本部

活動期間：令和元年10月12日～令和元年10月19日

活動内容：会員病院等の被害状況に関する情報収集

（青森県・岩手県・宮城県・山形県・福島県・茨城県・栃木県・群馬県・
埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・山梨県・長野県・静岡県）

会員病院へEMISの入力要請

1 - 3. 令和元年東日本台風（台風19号）における活動

【成果】

- ・速やかに災害対策本部を設置し、被災予想地域の病院（会員病院を含む）から情報収集を実施できた
- ・EMISへの入力が不慣れな病院に対して、入力要請・支援を実施できた
- ・病院避難が必要な会員病院に対して、病院救急車を擁したAMATを派遣し、患者搬送支援業務を実施できた

【課題】

- ・Faxをベースとした情報収集には限界が生じた→ソーシャルネットワークサービスを活用した新たな情報収集システムを開発する契機になった
- ・全日本病院協会に貸与された権限では、EMISの代行入力が不可能で、被災病院などから収集できた情報をEMISにリアルタイムに反映させることが出来なかった→権限の拡大付与が課題である

2-1. クルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号における活動

【活動概要】

①AMAT派遣

派遣要請：令和2年2月11日付で厚生労働省より、AMAT派遣要請

活動期間：令和2年2月11日～令和2年2月16日

活動場所：クルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号船内

活動内容：乗客の健康管理および医療支援等

活動隊員数：7病院（延べ13名：医師9名、看護師1名、業務調整員1名、薬剤師2名）

②全日病災害対策本部

活動期間：令和2年2月10日～令和2年2月17日

活動内容：新型コロナウイルスに関する情報収集

2 - 1. クルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号における活動

【成果】

- ・厚生労働省からの依頼に基づき速やかに災害対策本部を設置し、医師・薬剤師で構成されたAMATを即日派遣し、以降2月16日まで全国の会員病院からAMATを継続的に派遣できた
- ・派遣依頼に即応し、最も医療資源の投入が必要な期間に継続的に派遣できる保健医療活動チームとして機能できた
- ・DMATや日本赤十字社と協働し、高齢重症者を速やかに船外に搬出・病院搬送したことにより、船内の感染源を減少、船内での感染発生の収束に貢献できた
- ・出勤AMATに対しては、新型コロナウイルスに対応したAMAT保険を適応し、補償体制を整えた派遣により隊員の不安を軽減できた

新型コロナウイルス感染症に係る対応について

2 - 1. クルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号における活動

【課題】

- ・ AMATは感染症に特化した事前研修を実施しておらず、派遣当日現地での対応に不安が生じた→令和2年度のAMAT研修に感染制御を組み込む契機となった
- ・ 活動後のPCR検査に21日程度のタイムラグが生じた